

# も・み・じ

## 102



発行：放送大学福島学習センター  
機関誌

〒963-8025

郡山市桑野1丁目22-21

TEL 024-921-7471

いわきサテライトスペース

TEL 0246-22-7318

<https://www.ouj.ac.jp>

### —もみじの由来—

福島学習センターの建物は、もみじ館と呼ばれ、郡山女子大学発祥の地である。青葉の頃、紅葉の時期それぞれに美しい色どりが心をなぐさめる。当センター機関誌の名称としてまことにふさわしい。

重要!

## お知らせ



◆面接授業や学習センター等の重要な情報については、システムWAKABA及び福島学習センターホームページに掲載いたしますので、必ず週に1度はチェックするようにしてください。

【システムWAKABA】

<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/portal/>

【福島学習センターホームページ】

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/>

### ◆学習センター閉所日について

福島学習センター及びいわきサテライトスペースの閉所日

(2023年度から、いわきサテライトスペースの閉所日は祝日等以外、月・火曜日となります)

毎週月曜日及び祝日・7月25日(火)・8月8日(火)～16日(水)・

9月16日(土)・9月17日(日)・9月19日(火)

※10月以降の臨時閉所日については、次号以降お知らせします。

### ◆図書・視聴学習室からのお知らせ

単位認定試験の実施に伴い、7月1日(土)～7月23日(日)まで図書の館外貸出を停止します。(夏季集中科目生は通常通りの館外貸出が可能です)

### ◆次学期に向けての手続き

○次学期も学籍が続く方は、8月15日(火)～8月30日(水)〈本部大学必着〉の期間内に科目登録申請票(WAKABA申請可)を郵送してください。

○今学期で学籍が切れる方で次学期も学習を継続される方、再試験を受ける方は、8月31日(木)〔第1回〕、9月12日(火)〔第2回〕〈大学本部必着〉まで継続入学出願票又は一般の学生募集要項(ネット出願可)を郵送してください。

### ◆機関誌『もみじ』及び『利用の手引き』の配布方法について

配布方法については、福島学習センターホームページ内の「機関誌紹介」及び「各種お手続き」(下記URL)に配布方法が掲載されています。配布希望者の方はホームページ参照の上、お手続きをしてください。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/about/magazine.html>

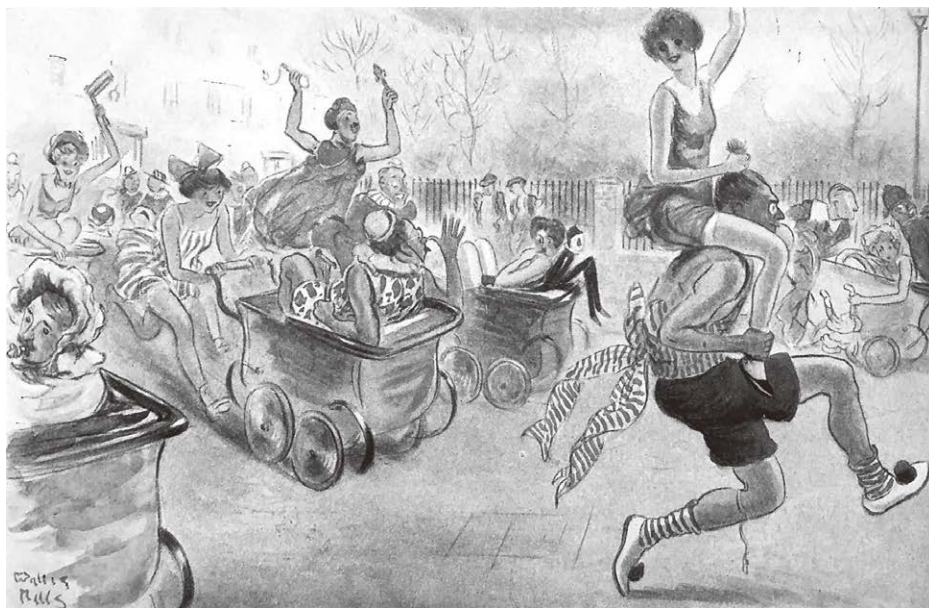
<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/procedure/>



## 「ブライト・ヤング・ピープル」 という人たちを、知っていますか？

高田 英和

20世紀の初めの、正確には1920年代の初めの、英国は主としてロンドンに出現したとされる人びとを、「ブライト・ヤング・ピープル」(Bright Young People)と呼び、その彼ら／彼女らの日常の振る舞いは、たとえば、次のようであったとされています。



“A ‘Baby’ Party in a Public Square” from *Punch* (Vol. CLXXVII, 1929).

ここからは、一言で、現在のことばで、記すなら、「パーティー・ピープル」と言っても良いくらい、今を楽しむ、今この瞬間こそをあるがままに生きる、そのような自由な若者たちのすがた・かたち、生きざまが見てとれるでしょう。

この、若者たちの、ある意味、突飛な行動と活動は、当時の英国のメディアを大いに賑わせ、騒がせていたといえます。それは、当時の、新聞でも、確認することができます。ひとつ例をあげてみると、『デイリー・ニュース』には「先週、ブライト・ヤング・ピープルのベビー・パーティーが開催され、何人かの招待客が乳母車で登場しました」と書かれています——“the Bright Young People, who last week held a baby party at which some of the guests arrived in perambulators” (*Daily News*, Wednesday 17 July, 1929, 9)。

1920年代初めの英国に出現した、新しい若いグループ・集団を「ブライト・ヤング・ピープル」といい、そして、その彼ら／彼女らの文化を、総じて、「ブライト・ヤング・シングズ」(Bright Young Things)ということは、周知のことであるし、その特徴を、一言で述べるのなら、それは、「貴族的」且つまたセレブ的、であるということも、広く知れ渡っていることでしょう。ここで、おもしろいのは、「貴族的」・セレブ的とは言っても、この若者たちには、お淑やかさは微塵もなく、大量の飲酒をするわ、麻薬も嗜んだり、朝方までどんちゃん騒ぎの「パリピ」の毎日という感じで、ある意味、そこには、大衆・消費文化の醍醐味とその雰囲気、言い換えれば、ハイ・カルチャーとは対照的なポピュラー・カルチャーが、これでもかと言うほど全面に押し出されていて、それゆえに、この点こそ、この若者たちの文化のおもしろみや歴史的な意味があるのかもしれませんが。ただ、この「ブライト・ヤング・ピープル」とその文化は、1920年代の末には、衰退したとされているようなのだが、はたして、そうなのでしょう。

一緒に調べたり、考えたりしてみませんか。

(きっと、楽しいし、ほんと、おもしろいと思うんですけど。どうかしら?)

# 令和4年度第2学期 卒業証書・学位記授与式

令和5年3月26日(日)いわきサテライトスペース、4月1日(土)福島学習センターにて卒業証書・学位記授与式が行われ、卒業を迎えられた34名のうち12名の出席がありました。

学歌斉唱のあと、千葉前所長から一人ひとりに卒業証書・学位記が手渡され、お祝いの式辞がありました。

続いて卒業生を代表して、福島学習センターでは滝澤裕美さん、いわきサテライトスペースでは熊谷泰人さんが「御礼のことば」を述べました。

ご卒業おめでとうございます



※延べ卒業生数 大学院59名 教養学部977名  
(いわきサテライトスペース卒業生数含む)

## 令和5年度第1学期 入学者の集い

卒業証書・学位記授与式に引き続き、令和5年度第1学期入学者の集いとオリエンテーションが行われました。中田所長の挨拶の後、オリエンテーションでは放送授業、面接授業、オンライン授業、施設の利用方法、客員教員ゼミや所長カフェ等の説明が行われ、新入生の皆さんは熱心に聞いておられました。



# 御礼のことば

滝澤 裕美

本日は、このようなご挨拶の機会を与えていただき、ありがとうございます。僭越ではございますが、卒業生を代表して、一言御礼のことばを述べさせていただきます。

今年は、いつになく春の訪れが早く、晴れの日を祝福するかのように花々が競い合って咲き誇り、心を和ませてくれています。本日は、私達のために『学位記授与式』を挙行していただき、心より感謝申し上げます。卒業生として、無事に卒業の日を迎えることができ、達成感や安堵感とともに喜びの気持ちでいっぱいです。

振り返れば、私が放送大学に入学したきっかけは、『今、目の前にいる子ども達を理解するために』という差し迫った理由からでした。その当時、私は、公立学校に勤務しており、思春期の子ども達と関わる中で、子ども達の発する言葉や行動の理解に苦しみ、対応に悩んで身動きが取れないような状態でした。日々、場当たりの関わり合いしかできず、心理学や臨床心理学を体系的に学び直す必要性を強く感じ、2016年、平成28年10月1日、心理と教育コースに入学を決意し、125単位を6年半かけて履修しました。

放送大学の学びを通して、得られたことを3点述べたいと思います。

1つ目は、学びを進めていく中で、知らなかったことがわかり、知識として自分の中に取り込まれていく充実感と学習したことを自分なりに考え、理解し、教育現場の中で試行錯誤を繰り返しながら、実践を試みる楽しさを実感できるようになったことです。思春期の子ども達の変容にも繋がったことが大きな喜びでした。また、日々の生活の中で、様々な価値観や考え

があり、正解も不正解もなくいい、多様な生き方が尊重されているという考え方を学習を通して学ぶことができました。

2つ目は、当時100歳の大先輩の学生の方が、『学びが生活習慣病のようなものになっている』という表現で、学びの楽しさを語っている放送番組を見て、とても感銘を受けました。学びが習慣化するまでには長い時間がかかりましたが、放送授業が日常生活の中に自然と組み込まれてくると、新しい学びが精神的な安定や穏やかな生活を保障してくれる存在になっていました。

3つ目は、面接授業での学生同士の交流を通して学び合いの機会があり、大変刺激を受けたことです。年齢も様々で、仕事や家事、育児、介護をしながら学びを両立させ、熱意と好奇心をもち、目標に向かって学ぶ学生の姿勢に、とても勇気づけられ影響を受けました。

私事ですが、4月からは、大学院の臨床心理学プログラムの修士選科生として、少しずつ臨床心理学の学びを深めていきます。また、6年半学んだ心理学を生かし、現在、傾聴ボランティア活動に参加しており、生涯を通して続けていきたいと思っています。

最後に、千葉所長先生はじめ面接授業の講師の先生方には、きめ細かな教材を準備していただき、丁寧でわかりやすい授業をありがとうございました。また、学習の継続の仕方や事務手続き、その他いろいろな相談にのっていただいたり、サポートをしていただいた事務室の職員の皆様方に深く感謝申し上げます。放送大学の益々のご発展をお祈りして、御礼のことばいたします。

令和5年4月1日

# 御礼のことば

熊谷 泰人

本日は私たち卒業生・修了生のために学位記授与式を開催していただき、誠にありがとうございます。

ご多用中、式にご出席いただきました本部の理事・学長はじめ学習センター所長やサテライトの皆様、そして福島同窓会会長に改めてお礼申し上げます。

さて、私は、「サテライト」が移転した「社会福祉センター」ビルにはただならぬ縁があります。まずさかのぼること6年前までは2階の「いわき市社会福祉協議会」の職員でした。さらには30年前、当時このビルは「産業会館」と申しまして、その1階にありました「平農業協同組合」で働いていました。都合13年ほどここに毎日通っていたわけです。「また、ここに帰ってきたんだなあ」と感慨ひとしおであります。

放送大学との「えにし」は、今から17年前、「農協職員」もマンネリとなっていたころ、同僚が「放送大学」で学んでいると偶然知り、私も、と選科履修生で入学、主に土日にサテライトでビデオやCDで授業を聞き、数科目の履修で終わるつもりでした。

ところが、当時の職員の「石川さん」から、「全科履修生となって大学卒業を目指したら、と誘われたのがきっかけ。「井の中のカワズ」の私を変えてくれた

んだなと感じています。また、当時のサテライトの「北見ゼミ」の仲間との交流はとても刺激的でした。様々な経験や苦勞を超えて放送大学で学んでいる諸先輩や同窓生が北見先生とともに講師となり「対話」の形で学びあったことは今でも思い出されます。

気が付けば、ズーと放送大学で学び続け、修士となつての論文作成も経験しました。(震災時に社協の相談員として市内の避難所などを巡る車中から変わり果てた海岸林をしみじみと眺め、これらを記録・研究してみようと思い立ち、大学院に入学し論文にまとめることができました。)

さらには、社協で携わった福祉関係に興味が出て、「社会福祉士」の資格取得には放送大学での福祉関係の履修科目が役立ちました。

私は今回卒業ですが、まだ退学はしません。できればもう一度大学院で勉強し、今度は福祉関係の研究を行いたいと思っています。引き続き学習センター・サテライトの皆さんそして本部の先生方にお世話になりますので、よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

令和5年3月26日

# — いわきサテライトスペース開所式 —

令和5年3月26日(日)、いわき市社会福祉センターの新サテライトスペースにて、開所式を挙行了いたしました。

主催者である千葉悦子放送大学福島学習センター前所長・高橋道和同学園理事長・岩永雅也同学長・中田スウラ放送大学福島学習センター新所長の他、来賓として下山田松人いわき市副市長・強口暢子いわき市社会福祉協議会会長が参列いたしました。

多くの参列者からご挨拶をいただいた後、テープカットを行い、いわきサテライトスペースの新しい門出を祝いました。学生の皆さまが今まで以上のよりよい環境で学習を続けられますよう、職員一同努力してまいります。



## 公開講演会のお知らせ

日時／**2023(令和5)年9/2<sup>土</sup>**  
 ■開場12:30 ■開演13:00~14:30

会場／いわき市社会福祉センター

演題／**ストレスとこころの健康**  
 ~日常生活の工夫から~

講師／放送大学客員教授  
 福島大学名誉教授  
**五十嵐 敦 氏**

日時／**2023(令和5)年9/10<sup>日</sup>**  
 ■開場12:30 ■開演13:00~14:30

会場／放送大学福島学習センター講義室

演題／**物流業界の「2024年問題」について**

講師／放送大学客員准教授  
 福島大学共生システム理工学類  
 准教授  
**石川 友保 氏**

いわき いわき市社会福祉センター

令和5年 **9月2日<sup>土</sup>** 13:00~14:30(12:30開場)

**ストレスとこころの健康**  
 ~日常生活の工夫から~

人生は、絶えずストレスとのつき合いです。苦しいことも楽しいこともストレスです。私たちは普段から、ストレスとのつき合い方や味い方を工夫しながらこころの健康を維持しようとしています。生涯にわたるキャリア形成と日常生活の話題などを取り上げ、生涯にわたるこころの健康について探ります。

講師 五十嵐 敦先生  
 放送大学客員教授  
 福島大学名誉教授

郡山 放送大学福島学習センター講義室

令和5年 **9月10日<sup>日</sup>** 13:00~14:30(12:30開場)

オープンキャンパスも同時開催  
 開場 12:30~13:00  
 【内容】放送大学内覧説明・客員先生など

**物流業界の「2024年問題」について**

物流業界の「2024年問題」とは、2024年4月1日以降、自動車運搬業務の時間外労働時間の上限が年間960時間に規制されることによって生じる諸問題の総称です。例えば、長距離の輸送ができなくなる、輸送できる貨物量が少なくなるといったことが懸念されます。本講演では、「2024年問題」が起る背景やその影響、「2024年問題」に対する行政や企業の取り組みなどを紹介します。

講師 石川 友保先生  
 放送大学客員准教授  
 福島大学共生システム理工学類  
 准教授

### 定員・お申込み・お問い合わせ

■各先着**35名(要予約)**

※各回とも定員になり次第終了します。お早めにお申込みください。

■事前電話予約 開催地別に電話でお申込みください。

- ・いわき いわきサテライトスペース
- ・郡山 福島学習センター

### お申込み・お問い合わせ先

放送大学福島学習センター

〒963-8025  
 郡山市桑野1丁目22番21号

**TEL.024-921-7471**

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/>

放送大学いわき  
 サテライトスペース

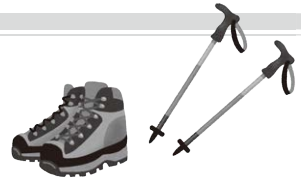
〒970-8026  
 いわき市平字釜川町1番地の3 (いわき市社会福祉センター4階)

**TEL.0246-22-7318**

主催：放送大学福島学習センター 後援：福島県教育委員会・郡山市教育委員会・いわき市教育委員会

# 学生サークル紹介

## 福島登山サークル



加藤 英夫

放送大学の皆様こんにちは。一度卒業し、再入学した加藤と申します。放送大学は様々な科目があり充実している学びの場ですが、今回はその中でもサークルのご紹介をさせていただきます。しかし、私自身は歴史ある福島登山サークルに加入し、参加させて頂いたのはちょうど一年前なので諸先輩方がいる中で大変僣越ですが、新人として感じたサークルの素晴らしさを伝えたいと思います。

私自身も登山の経験は皆無に近く、若いときに数回誘われて登山した記憶しかありませんでした。この状況は変えてくれたのは良くも悪くも新型コロナによって会社付き合いの会議や懇親会が減り、体調も若いときより落ちるとともに、面接授業も制限あり、何かしなければと思っている矢先でした。

福島登山サークルの存在は知っていましたが、登山の経験がほとんど無い私が参加することは迷惑になってしまうのではないかと最初はためらいましたが、コロナ禍でウォーキングを少しするようになり体力が少し戻ってきたので思い切って参加してみようと思いました。

思い切って飛び込んでみると、皆さん経験豊富な方々でしたが、初心者の私に合わせてアドバイスを頂き、現在は仕事で参加出来ない時以外、サークルがあるときは参加しています。

一例として、去年の参加させて頂いた山行でも1泊2日で参加した新潟県の巻機山についてご紹介させていただきます。山行の前日に南魚沼市の民宿に泊まり、地元魚沼産のコシヒカリと山菜・魚を頂きました。前日なので深酔いはできませんでしたが、日本酒も提供していただき楽しい時間を過ごしました。翌日は5時頃から登り始めました。巻機山の麓は古くから織物や養蚕が盛んで、頂上部には養蚕の神として機織りの姫が住むとされている信仰の場とされています。急な場所もありますが緑と途中での越後の山々が雄大に見えます。途中にニセ巻機といわれる前巻機があり、避難小屋を超え、そこから美しい地塘があります。登山をすることはその地域の歴史や信仰、食事など全体を味わうことであり、ドライブだけでは経験することができない深い体験をすることができます。合計約11時間の山行でしたが達成感もありました。

忘年会として朝日山にも行き、自然の中で芋煮会をしたのも今までにない経験でした。それぞれの参加する山についてはランク分けされているので、自分の体力にあった参加をすればいいと思います。私自身も1年前にはこのように登山をしているとは想像できませんでした。経験豊富な皆様に教えて頂きながら、そして経験し学ぶことは放送大学の授業だけでは達成できないことだと思います。様々な年齢の方と語りながらの山行は人生を豊かにしてくれると思います。ぜひ、経験の無い方も試しにご参加ください。

